

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】 3【そなえる】	⑬、⑭【地域づくり、復旧・復興へのあゆみ】 村の特徴や復旧・復興の状況を知り、郷土のよさを再認識ながら、地域づくり・村づくりにかかわる。 ⑯【学校・家庭・地域での日頃の備え】 地域の防災システムを理解して、防災活動に参加する。	教科（社会） 総 合 学 校 行 事

【題材】 村内めぐり（3年生・社会科見学）、村外めぐり（4年生・社会科見学）  
ふるさと体験学習（5年生）、修学旅行（6年生）、総合防災訓練（全校）

【対象】 3・4年生児童 <村内めぐり・村外めぐり（理解）>  
5年生児童・北山崎の観光者 <ふるさと体験学習（理解・発信）>  
盛岡市民・盛岡の観光者 <修学旅行（発信）>、全校児童 <総合防災訓練（理解）>

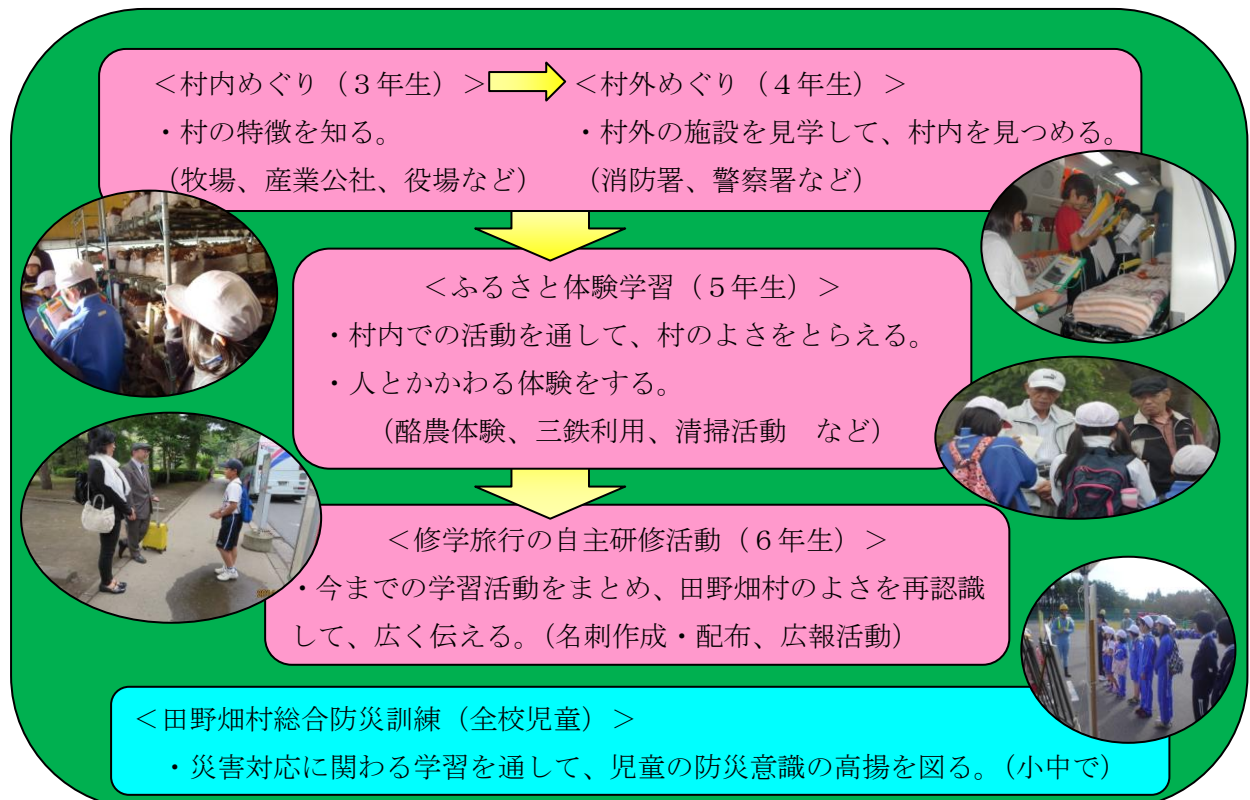
【実践の概要・詳細】

平成23年3月11日の「東北地方太平洋沖地震」により発生した大津波は、本村に人的にも物的にも大きな被害をもたらした。村の復興基本計画によると、「この震災を糧として、魅力ある新たな田野畑村に生まれ変わる『未来にむけた復興』という視点で取り組むこと」が謳われている。また、復興基本計画で打ち出された基本方針の1つに「地域振興」が掲げられており、その具体的な取り組み内容として、「教育・人材育成の充実」<中期的な取り組み（概ね5年以内）>がある。

「教育・人材育成の充実」では、(1)総合的な防災・復興教育の実践 (2)復興にむけた男女共同参画等の推進 (3)地域リーダーの育成 という3つの方針で取り組んでいくことが明言されている。

総合的な防災・復興教育の実践および復興にむけた男女共同参画等の推進という観点から、一昨年度は、「田野畑村 教育の日のつどい」における復興子ども会議を核とした田野畑村の復興にかかわる全校の取り組みの事例について報告をした。また、昨年度は、6年生の修学旅行および5年生のふるさと体験学習における活動に目を向けて、復興教育の実践の事例について報告をした。

今年度は、いままで実施していた3年生から6年生までのそれぞれの活動を系統的にとらえ、復興教育を意識した取り組みを行った。



【 展 開 】

<実践① 村内めぐり（3年生）>

村の施設見学を通して、田野畑村は農業や漁業等が中心の村であることを知るとともに、そこで仕事をしている人たちが「田野畑村を思い、田野畑村のために」自信を持って働いていることを知ることができた。



<実践② 村外めぐり（4年生）>

3年生の村内めぐりの学習をもとに、隣接する岩泉町の施設を訪ね、お話を聞いたり体験したりして、田野畑村との類似点や相違点を知り、改めて村の特徴について再認識できたとともに、田野畑村のよさについて考える契機となった。

<実践③ ふるさと体験学習（5年生）>

3・4年生の学習体験を踏まえるとともに、6年生の修学旅行の自主研修活動につなげるために、今年度全線開通した三陸鉄道の乗車（島越～田野畑）や海岸清掃活動、田野畑の自然の学習を取り入れた。



この1泊2日の活動を通して、人々の努力により確実に復旧・復興をしていることを知った。反面、村が完全にもとの姿に戻るにはまだまだ時間がかかることも実感した。

<実践④ 修学旅行の自主研修活動（6年生）>

実施して、2年度目となるが3～5年生の活動のまとめとして、盛岡市内において田野畑村のPRを行った。

田野畑村で紹介したい内容をまとめる活動を通して、改めて「田野畑村のよさ」を再認識することができた。また名刺づくりや人との接し方の練習を通して、一人ひとりの児童が村の代表であるという意識を持って、当日の活動に臨むことができた。



当日、数名のグループに分かれて、出会った方々に積極的に「田野畑村のよさ」をPRしていた。

<実践⑤ 総合防災訓練（全校児童）>

小学生と中学生が25班に分かれて、村の総合防災訓練に参加した。中学生のリーダーを中心に班行動して有事の際の行動様式の一つとして学習した。

また、震災の語り部よりお話をいただき、防災の心構えや日常における備え等の意識をもつことができた。



<まとめ>

これまで、各学年で取り組んでいた村内外での学習を復興教育の観点から整理するとともに、系統性を意識してさらに取り組むことにより、本校の復興教育が充実したと言える。また、今年度新たに6年生が取り組んだ景観学習は、児童一人ひとりが田野畑村のよさを認識して村外に発信できる活動であることを知った。6年生の修学旅行につながる一連の教育活動をさらに進めていきたい。

「田野畑を知っていますか。」「牛が沢山いて、牛乳がとても美味しい所です。」「是非、一度きてください。」

盛岡駅西高速バス仙台行停留所でバスを待っていると、一人の男の子が来て口早に説明をしました。やがて、小さな紙片に「牛乳甘いよ。」と大きくあり、次に田野畑小学校6年統真とありました。又、裏には岩手県の全地図があり、田野畑村に赤丸がついていました。小学生の名刺です。子どもは小走りに5人ほどのグループに急いで合流したようです。どんな目的やなぜ歩いているか聞かないままに「行ってみるよ。」私たち夫婦2人が後ろから声をかけた不思議な体験をしました。

「祝三陸鉄道全線運転再開 絆つなぐ三陸海岸縦断の旅」の旅行案内があり、見ると田野畑のホテルに宿泊とありました。「一度来ててください。」の小学生を思い出し参加の申し込みをしました。（中略）

不思議な小学生の名刺が縁で旅行をしましたが、マリオスの前で田野畑の産業を説明した統真くんは、きっとこの日のためにお友達と話し合い、先生のご指導をいただいたと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。この子どもさんたちがやがて大きく成長し、漁業・酪農・観光など地域の産業振興に尽くす人になると思いました。

「統真くん、田野畑に行ってきたよ。田野畑小学校のみなさん、とても田野畑は良かった、有り難うお元気で。」（後略）

<修学旅行の自主研修活動で  
出会った方からのお手紙より>